

《 スギ直播きコンテナ苗について 》

平成24年7月1日

- ・培地はゴールド(ココピート)又は鹿沼土約20%混合、基肥5g/ℓ
- ・播く時期は秋11月から4月が良い。一年生出荷は3月上旬までに播く。
- ・播く種子の量はキャピテイコンテナ1床5～6粒位
- ・ハウス内温度に注意し高温(30℃以上)障害による発芽不良発生
- ・播いたら野外の地面に置き、寒冷紗等で陽除け、湿度を保つ。
- ・早いものは3月中、下旬から発芽を始める。そのまま梅雨明け後10日位地上育苗
- ・追肥は液肥500倍くらいのものを、7日～10日に一回、粒状肥料は成分8%以下使用。

◎ 育苗棚に、なぜ、すぐ乗せないのか？

- ・根腐れ防止と成長を促し主根等を太く育て、植栽後活着を早めに初期成長が期待出来るコンテナ苗としたい。
- ・梅雨明け10日後位からは育苗棚での育苗とする。
- ・9月頃までには規格苗とし根鉢の白根等の木質化を計る。
- ・寒い地方の越冬は地面に降ろし根鉢の凍結に注意のこと。
- ・弁当肥は出荷前30日～40日前に与える

◎ 出荷準備について

- ・水分を与えず根鉢を乾かし2日前に抜き取り、300倍の液肥に根鉢を10秒間くらい浸け、土間(シート等不要)に立てる。
- ・苗木の重量は 150cc(50g～60g) 80g～100g
300cc(110g～130g) 170g～230gとなる。
- ・ダンボール箱 100cm×24cm 150cc約200本、300cc約100本入れとなる。

* ハウスの利用は冬期間(11月～3月)位だけの使用とし通常の苗畑と同じ環境でコンテナ苗の生産としたい。

宮城県農林種苗協同組合

組合長 太田 清蔵